

# 調布市立学校における働き方改革プラン【概要版】

令和5年2月改定

## 目的

学校教育の質の維持向上のために、教員の授業力の向上及び子どもと向き合う時間を確保できる環境を整え、教員の心身の健康保持を実現する。

## 時間外在校等時間の上限時間の原則

① 1月について 45 時間 ② 1年について 360 時間

※特例的な扱いあり

## 新規・拡充の取組

3 学校を支える人員体制の確保, 4 部活動の負担軽減

小中学校

### 専門スタッフ

スクールサポーター  
スクールカウンセラー  
学校司書

### スクール・サポート・スタッフ

一般教員の事務補助

### 副校長補佐

副校長の事務補助

### コミュニティ・スクール

教育委員会より任命された委員が、学校の運営と必要な支援について協議

### 地域学校協働本部

地域コーディネーターが中心となり、学校で必要な支援を行う

小学校

### エデュケーション・アシスタント

副担任相当の業務を担う

中学校

### 外部指導員

競技経験のない教員が顧問になる場合等、顧問の教員と連携・協力し、部活動のコーチ等として技術的な指導を行う

### 部活動指導員

教員に代わり部活動の指導を行う

### 持続可能な部活動の地域連携・地域移行

地域の持続可能で多様なスポーツ、文化・芸術環境を一体的に整備し、子どもたちの多様な体験機会を確保

## 具体的な取組

### 1 教員が担うべき業務に専念できる環境の確保

統合型校務支援システムの活用促進

学校徴収金管理の効率化等

説明会、研修等のオンライン実施による移動時間の縮減

学校に対する各種調査や会議出席依頼等の精選、見直し

### 2 教員の意識改革

出退勤システム導入による在校等時間の把握

会議・研修等の見直し、効率化

自己申告において働き方改革の目標を設定

好事例の共有

### 3 学校を支える人員体制の確保

専門スタッフの継続配置（市費）

スクール・サポート・スタッフの継続配置（都補助）

副校長補佐の継続配置（都補助）

エデュケーション・アシスタントの配置（都補助）

コミュニティ・スクールの導入

地域学校協働本部の推進（国・都補助・市費）

### 4 部活動の負担軽減

「調布市立中学校における運動・文化部活動の方針」の取組

外部指導員による継続支援

部活動指導員の継続配置（国・都補助、市費）

持続可能な部活動（運動・文化）の地域連携・地域移行に関する検討

### 5 教員の健康保持

健康診断の実施

ストレスチェックの実施

医師による面接指導の実施

産業医の設置を検討